

# 環世界学の展望

The perspectives of mesology as an integrated study of the human environment

2015年 9月 14日 (月) 15:00 - 17:00

人間と自然の関係を総合対象にした実証科学として初めて(1848年に)mésologieを提唱したのは、フランス生物学会の創立者の一人、コントの弟子で、医者シャルル・ロバン Charles Robin だった。十九世紀に栄えた後、実証科学として幅が広すぎたその学は、還元主義的な決定論に陥って、生態学の発展や人文地理学の可能主義 possibilisme の影響によって、学界から消えたが、同時に、まったく別な存在論的な基盤をもった学として、新しい mésologie が現れた。それは、生物の主体性を前提にしたユクスキユル Jakob von Uexküll の環世界学(Umweltlehre)と、人間の主体性を前提にした和辻哲郎の風土論であった。主体にとって実際に存在するもの(つまり現実)は、二元論的に対象化された抽象的で普遍的な環境(Umgebung 自然環境 environment)ではなく、特殊で、具体的な milieu (Umwelt, 人間風土を含めた環世界)である。とはいえども、ユクスキユルも和辻もそういう環世界学が必ず持つ近代自然科学の対象化した地球環境との存在論的・論理的なつながりを明らかにしなかった。ここでは、人類が長期的に地球上に生き延びるために必要になってきた総合地球環境学の欠かせない、存在論的・論理的な基盤を持った環世界学の基本概念と展望を紹介する。

Abstract – *Mésologie* (mesology), a word created in 1848 by Charles Robin, is here understood in the sense of Uexküll's *Umweltlehre* and Watsuji's *fudoron* (風土論). It differs from ecology in that it considers as the first condition of *milieu* (as distinct from *environment*) the selfhood of the concerned being, whether human (in Watsuji's case), animal (in Uexküll's case) or living in general (in the present case). This lecture presents the main ontological and logical requirements of mesology, the main related concepts, and what they can concretely imply in some present debates.



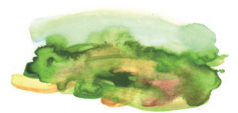
● 報告者 オギュスタン・ベルク ●  
(欧州学士院員、社会科学高等研究院)

オギュスタン・ベルク、1942年モロッコ生まれ。フランス国立社会科学高等研究院教授、環世界学と風土論専攻。欧州学士院員、福岡アジア文化賞大賞受賞(欧米人として初)。著書に『風土の日本』(ちくま学芸文庫)、『風景という知』(世界思想社)等。

Augustin Berque, born in 1942, Rabat, Morocco, is a French geographer, Orientalist and philosopher. He is a professor at the École des hautes études en sciences sociales in Paris (EHESS). His specialist field of interest is Japan. Berque has developed an extensive array of concepts in order to grasp the complex nature of relations between natural and physical objects and the way we conceive of nature.

● 会場 総合地球環境学研究所・講演室 ●

● 申込不要・入場無料 / 使用言語 日本語 ●



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
総合地球環境学研究所  
Research Institute for Humanity and Nature

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山 457 番地 4

■ 地下鉄烏丸線  
京都駅 → (20分) → 国際会館駅  
→ 京都バス 40系統「京都産業大学ゆき」または  
50系統「市原ゆき」または  
52系統「市原経由貴船口・鞍馬・鞍馬温泉ゆき」  
→ (6分) → 地球研前 バス停下車すぐ

■ 京阪沿線  
出町柳駅 → 叡山電車鞍馬線 (17分) → 京都精華大前駅  
→ (徒歩10分) → 地球研

マイカーでのご来場は固くお断りいたします。  
公共交通機関をご利用ください。

